

ごあいさつ

組合員並びに地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より当JAの事業運営に対しまして、特段なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は不祥事件の発生によるマスコミ報道等、皆様には多大なご心配をおかけし、深くお詫び申し上げます。現在は、役職員一同、信頼回復に向け不祥事再発防止策を策定し、取り組んでいるところであります。

さて、国内経済は雇用・所得環境が引き続き改善し、経済の好循環が進展する中で、民需を中心とした景気回復が見込まれますが、日本銀行によるマイナス金利政策が導入され、金融・保険業界は大きな影響を受けており、今後の政府・日本銀行の動向にも注視する必要があります。

一方、農業・JAをとりまく情勢は、農業従事者の高齢化、リタイア等による農業就業人口の減少、担い手・労働不足による生産基盤の脆弱化が懸念されます。

さらに、改正農協法の成立やTPP離脱後のトランプ政権の動向、規制改革推進会議農業WGによる農業改革提言など先の見えない状況にあります。

このような中、第40回JA群馬県大会の決議を踏まえ、第8次中期3カ年経営計画を策定し、JA自己改革の実践並びに平成28年度事業計画の達成に向けて取り組んでまいりました。

中期計画の全体戦略である「食彩館プレミアムポイントカード」の導入については、昨年10月24日より使用が開始されました。今後はさらなる利用者の獲得と部門間連携による事業伸長、ひいては、農業者の所得増大に取り組めます。

平成28年度の事業実績については、役職員の積極的な事業展開や不良債権の発生防止等により、当期剰余金は412,313千円の黒字計上となり、自己資本比率11.36%で終了することができました。これもひとえに組合員をはじめ地域の皆様のご支援ご理解の賜物と衷心より感謝申し上げます。

今後につきましても、第8次中期3カ年経営計画に基づき、農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化を基本目標とし、自己改革の実践に取り組んでまいります。

ご支援ご協力をお願い申し上げます。